

(会議の経過) 土万・菅野小学校区 第3回学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	委員の増員について報告(3名)
事務局	次第3「学校規模適正化・幼保一元化に関する保護者意見交換会、地域説明会での意見等について」報告
委員	土万小学校は廃校になる。教育委員会の提案では菅野小学校も廃校になる。資料からは廃校にさほどこだわりはないという感じが読み取れたが、これは会議の記録であり、菅野小学校がなくなるということについて菅野小学校区の方が本当はどう思っているか生の声を聞きたい。小学校がなくなり全く知らない菅野小学校に子ども達を通わせることに不安を感じずにはいられない。子ども同士の付き合いが始まると同時に親同士の付き合いもはじまる。長い歴史のある小学校・地区が一緒になって子どもの教育を進めていく。そこまで考えた上で、菅野の方は小学校がなくなり新しい学校になることに対して本当に賛成なのか。土万地区で菅野に行こうかとなっても、菅野の方にこないでほしいと思われていたら通えない。資料は文章であり、また、その場にいた方だけの発言になる。会にも参加できなかった保護者の方もおられると思う。皆さんとこれからつきあいをしていくことになり、どう思われているのか不安だ。本当に賛成なのか、代表の委員各位に確認をさせていただきたいと思う。意見を聞いて土万地区保護者でもう一度話をしたいと思っている。
委員	ここまで少子化になってしまったら仕方ないという気持ちが強い。時代の背景である。行政の味方ではないが、自分ならある程度の規模の中で子どもを大きくしたいと思う。小規模であれば先生と意思疎通ができて良いかもしれないが、ある程度の人数的中で競い合い、色んな交流をしながら大きくなっていくのが理想だと思う。通学など問題もたくさんあるとは思いますが、そのような面は保護者でクリアし、子ども達が大勢の中で健やかに大きくなっていく、適切な教育を受けられるようにしてやるのが望ましいと思う。どちらの小学校も一旦閉校し、新しい学校を作っていくことについて菅野小学校が無くなることにどう思っているかという、仕方ないと思うと同時に、正直、菅野が土万に上がるということはないという安易な気持ちもありながら、土万の方が反対しているほどの反対の思いはないのかもしれない。菅野中学校と山崎中学校が統合した時も同じである。菅野では反対したけれど山崎はさほど反対はなかった。これと同じ思いかもしれないと正直思う。
委員	教員をしていた立場も含めて菅野の一員として考えた場合、菅野中学校が廃校になった時は非常に寂しい思いがあった。土万小学校区の方の気持ちもよくわかる。学校の教員として考えた場合、小さな規模の学校の子供達達は少人数で非常に仲が良いが、逆に例えば10人のクラスなら10番までのランクがいろいろな場面でできて追い越しができないということがある。一見、仲良くしているようだが、ほっておいたり目を離したりしていると、悪い方向に走る場合もある。少人数で良いこともあるが、お互いに切磋琢磨していく意味では不都合があると思う。菅野中学校と山崎中学校が合併し山崎西中学校になった時も、菅野中学校の子供達が学年でバラバラに別れてどうするかと思い、先生が必要以上に気を配ったりしていたが、その中で友達を見つけ、そして居場所を作っていたように感じた。大変な部分もあると思うが、行ったことによって集団づくりの中に入れるものができたと思った。グローバル社会の中で、地域を広げて、一つの地域として発展していくきっかけとして捉えないといけないと思う。合併すれば土万・菅野両地区で子供が増えていくかといえ、そうはならないとも思うが、合併の方向として、個人的には山崎小学校と

会長	<p>の3校一緒がいいとは思いますが、まず、踏み出さないと仕方がない部分ではと思う。学校がなくなるという寂しさはよく分かる。土万幼稚園の2名の子どもが平成25年4月から菅野幼稚園に通うことを考えられていると聞いたが、地域としては受け入れる感覚も拭えず、土万の方とは気持ちが少し違うかもしれないが、できれば子どもの視点に立って考えることが第一で、何とか一緒に踏み出せたらと思う。</p>
委員	<p>子どもが中学校3年になる時、菅野のPTA副会長をしていた時に中学校が合併した。中学校と小学校は年齢も違うので一緒にはできないが、中学校の統合の経験者として話させていただきたい。菅野では家族・地域ぐるみで運動会やいろんなことを協力して、本当に良い学校だと思っていたので、山崎になった時に唖然とした。生徒数は山崎 2/3、菅野 1/3 だったが、菅野地域の方は子ども達の運動会になると家族全員が揃って行っていたが、山崎は菅野の半分の方も参加していなかった。しかし、それが良かったのか、子ども達が優越感を持ったのかもしれないが、今まで序列が付いていて、例えば運動会でも本気で走らなかったものがなくなり、運動でも一生懸命頑張ろうとしていたと思う。山崎の気の合う友達もでき、家庭的なつきあいもできるようになっていった。山崎西中学校に行くことによって菅野の時に良かったことが山崎に広がったということは感じなかったが、新しい風が入ったと思う。山崎の子にまじって今までの順位が上下することもあったが、負けないように今まで以上の勉強をしなければという気持ちができた子もいる。一概に良い悪いは言えないが、良かった子どもが落ちたり、環境が違って頑張る上をめざしたりして、ここでもう一度見直して自信をつける、そういう形になってくることがあると思う。それが切磋琢磨ではないかと思う。先生も一生懸命に教育されたが、良いか悪いかは子ども次第だし、親の教育も含めて決まるのではないかと思う。学校参観も菅野校区より山崎校区の保護者は少ないと思う。保護者がどこまで学校に関わっていくかということが学校を良くすると思う。また先生は保護者をできるだけ学校に引きつけ、そういう力がある学校は良い学校だと理解している。先生や保護者がその気になってしていけば良い学校になると思う。土万の保護者の方がよく来てくれたら子ども達の後ろ盾にもなるので、親としての関わりが一番かなと思う。統合までには泣く目にあっただし、反対も自分達の時も2年程度の協議で急な話しで反対もしたが、最終的には子どもは少ないよりも多い方がいいという思いにいたった。菅野でも特に北部の反対が強かったが、最終、保護者の意見を吸い上げる形になり、できるだけ良い条件の中で、かつ保護者がどれだけ学校に関わり、自分の目で見て聞いて意見できるかが大事だと思う。子どもはもまれて上がる子、下がる子の差が激しくなるが、社会に出れば仕方がない部分もある。低学年でそういう目にあわせるのがいいのかという思いはあるが、統合は保護者、地域がいかに関わるかが出発点だと思う。</p>
委員	<p>実経験を生で聞くことがなかったので参考になる。菅野小PTAはどのような感じになっているのかお聞きしたい。</p>
委員	<p>菅野小PTAでアンケートをとった。集約はまだきっちりできていないが、まだ早いのではないかと、制服の問題などもちらほら書いてあった。今日の意見を聞いて保護者会を開こうかなと思っている。</p>
委員	<p>菅野小保護者会に参加することができないか検討してほしい。今から付き合いが深くなっていくので、菅野の保護者の皆さんともいろいろな話をした中で決めていきたいと思う。情報はオープンにしていっての方が良いのではないかと思う。ものすごく揺れている状態である。</p>

委員	アンケートの結果でいろんな意見がでている。まず、菅野小PTAとしてアンケートの結果を話し合ってみないとどのような答えが出るかわからない。その後で、一緒に話をするようなことについても考えていくようになるだろう。
委員	保護者同士の付き合いが子どもにすごく影響する。親同士の仲が悪いと、子ども同士も仲が悪くなることを経験している。一緒になっても大丈夫なことも、少子化も理解しているが、子どもの人生を変えるかもしれない出来事を安易な考えではできない。いろんな情報を頭の中に入れてその中で判断して我が子の人生を決めてあげたい。もちろん我が子だけでなくみんなのことも考えないといけない。いろんな情報がほしい。教育委員会に言いたいが中学校の状況も非常に問題である。中学校のこともこれから話し合う中で筋道が出てくると思うが、そのことも自分の中で決断していくためには必要な条件である。いろんな情報を入れてもらって、どう考えても適正化の方がベストという結論が出るような環境であれば答えが出せると思う。今の状況ではグラグラである。役員同士の中でも意見が分かれている。
委員	小学校5年生で土万小学校と一緒に自然学校に行く。また土万小学校の子ども達と遊びたいと家で言ったりする。そう言うことを聞くと合併も良いのかとも思う。
委員	今は全部の保護者が知り合いで、子どもの様子をリアルタイムで他の親御さんから聞くこともある。そこまでの環境を求めはしないが、親同士がスクラム組んでやっていくことは最低限必要なことだと思う。例えばPTAの方の1人でも絶対きてほしくないという方がいたら気になる。
委員	土万の意見交換会で上がった話で、この資料には載っていないが、宍粟市全体で制服を一つにしたらどうかという案があったと思う。全体で制服を統一したら土万のように統合でなくなってしまうと不安に思っている地区も、菅野のように来てもらうかもしれないと思っている地区も、統廃合を全くしない小学校においても、みんなが同じように適正化に向けて市内全体で動いているということで全家庭での意識が高まるのではないか。統廃合になる地区では必ず制服の問題が出るので、統一することでみんなの意識も高まるし、良い方向になると思うので、意見の一つとしてとらえてもらいたいと思う。
事務局	そういう意見も出ていた。良い意見だと思うが、各学校で制服を決める時に保護者と相談して決めているので、今後の参考にさせていただく。
委員	制服を決めることは学校の裁量の問題になる。宍粟市全部が同じ制服であるのは一つの案ではあるが、各学校でPTAの方が集まって委員会を作るなどして決められている。学校によっては私服でもいいというところもある。制服はある一種の学校の特色になることでもあるので、個人意見として例えば旧町でというようなことならまだ考えられるかもしれないが、市全体という発想は考えものだと思う。
委員	前向きに話が進んでいると感じている。土万小学校区としては小学校、幼稚園にしても菅野の方で地域的にお世話になる形で思っている。小学校はPTAの方、自治会の方にほぼ理解していただき適正化の方向に進んでいる。どの事業にも100%はないが、小学校はそれぞれ閉校して新しく両校で小学校を作ることをお願いしたい。幼稚園については、幼保一元化は非常に時間がかかりそうなので、保護者・地区自治会が協議して平成25年4月から菅野幼稚園に通園したいと市に要望等を出している。菅野地区の皆さんにご理解ご協力いただき、平成26年4月から適正化という方向に進んでいきたいと思っている。土万地区については中学校が佐用町と宍粟市の組合立であり、教育委員会の取組みの部分で調整が取れていないようで、同じ方向に進んでいるようだが、差があるように感じている。佐用の教育委員会と積極

会長	<p>的に調整していただきながら、中学校と小学校はどうしても切り離せない部分があるので、更なる努力を教育委員会でしていただきたいと思っている。</p>
委員	<p>土万地区代表の委員から説明があった。菅野地区も学校規模適正化、幼保一元化の具体的な結論は現時点では出ていないが、当委員会も第3回ということで教育委員会からの説明は果たしていると思う。子どもが主人公の視点に立って進んでいかないといけないという理解は進んだと思う。中学校の問題、こども園が公立から民営化になる不安、また地域の方々に理解されていない方もいるので、もう一度、よくそういう方々に説明していただいて前に進んでいただきたいと思う。菅野地区の自治会としてはそういう結論だと思うので願います。</p>
委員	<p>幼保一元化について、菅野・土万地区の方の中では子どもを保育園にあずけて幼児教育を受けさせたい、延長保育をしてもらいたい、規模を大きくしてもらいたいという3点があると思う。幼保一元化の認定こども園とをセットにして行政は進めたいと地元の方に説明していると思うが、実際、公立の2幼稚園と私立の1保育園を一つにまとめて1つの認定こども園で運営していくことは難しいのではと思う。今後、私立が認定こども園を受けるとしても少子化が進んでいく中で、その地区の認定こども園となったら、菅野・土万地区以外の園児も減ってくる状況で、将来的には経営が苦しくなってくるのに、そこに自ら手を挙げて経営に携わるといこと、普通の経営者はされないと。住民の幼児教育をもっとたくさん受けたい、延長保育をしてほしい、適正な規模で保育してもらいたい思いを、行政は認定こども園を推進して民間経営でしていくことずっと提案している。どこにどのような施設を建てるかなどのビジョンも定まってない中、また現在はこの施設も例えばランチルーム、保健室、0歳児から始めるなら調理室もいるだろうし、そのような方向性が定まらないまま幼保一元化だけ前を出して地元の方に進めていくのでは話はまとまらないのではないのかと思う。3～5歳児の3学年で対応すれば調理室も不用で、ランチルーム・保育室・保健室が確保できればどうにか対応できる問題でもあると思うが、どのように考えて進めているのか行政に聞きたい。</p>
委員	<p>土万地区では学校のことがあり、幼保一元化まで話が進んでいない。幼保一元化の話をしたのは1回だけになる。説明はしていただいたがそこまでの議論になっていない。説明を聞いて議論の余地がないくらい無謀な計画で低レベルの提案だと話した。みのり保育園が設備が整って受け入れできることになった場合、市が管轄するという市に申請して、みのり保育園への入園認定を受け、みのり保育園と個人との直接契約になる。みのり保育園から断られた場合、子どもはどこに行くのかというようなことはガイドラインの中には含まれていない。今のままではきれいごとが並んでいるだけなので議論をする余地がない。話し合いをしてもしかたないということ話を話した。</p>
委員	<p>実際、菅野幼稚園に通うことになって、ある程度の人数的中で幼児教育を受けさせたいという保護者の思いだと思う。なおかつ給食があつて午後からもみてもらえるなら幼稚園にあずける親がもっと増え、より一層適正な規模で幼稚園教育ができると思われていると思う。行政が進めている認定こども園の進め方ではまずいという思いだと思うが、行政としてどのようなビジョンを持って、この菅野・土万地区に取り組んでいるのかを言ってもらわないと、ここで保護者が言ってもそのとおりにはないだろうし、それを示してもらわないといつまでたっても話す余地がない状況で進んでいると思う。</p>
委員	<p>この会は議論できる場だと思っている。</p>

委員 事務局	<p>行政のビジョンを聞きたい。</p> <p>ご指摘のとおり幼保一元化（認定こども園）については大きな計画しか示せていない。もう少し具体的なものが出ないと協議にならないというご意見、さらに行政の責任を明確にすべしとのご意見だと思う。この地域における明確な考え方、場所や運営主体について、当地域内にはみのり保育園という社会福祉法人があるが、そこを定めて選定をしている訳ではないし決めているものでもない。これからどの社会福祉法人に担っていただくかが決まっていくことになる。議論の過程としてはどこにどの程度の規模のものをつくるかなど、議論のたたき台を早く示していかないと全体像が見えないということもあり、議論にならないという点については、今後、その取り組みをしていきたいと思っている。また、行政がどのように関わって、社会福祉法人が運営する認定こども園が、保護者・地域の皆さんから信頼されるものになるのか、今後、より具体的なものをお示しする中で協議をしていき、議論を深めていきたいと思っている。資料としては弱いとは思っているので、鋭意努力して皆さんと協議させていただきたいと思う。</p>
会長 事務局	<p>千種の幼保一元化の場所は決まったのか。</p> <p>地域の委員会としては小学校周辺として結論をいただいた。それを受けて間もなく教育委員会としてどうするか、決定する運びになると思っている。</p>
会長 事務局	<p>時期はどうか。24年という話が出ていたように思うが。</p> <p>計画は24年としておりましたが時間がかかり、地域の委員会では実施時期はなるべく早めに、場所は小学校周辺で、運営主体は社会福祉法人で、という委員会の結論をいただいた。</p>
委員	<p>あずかり保育、給食実施、3歳児からの幼児教育など要望がでていることに対しては、認定こども園の推進が要望の返答と理解をしたらいいのか。あるいは現実困られている方がいるから延長保育を実施しようとか、手立てを打つ余地があるのかどうか保護者の方達が一番気になる点だと思う。その点、持ち帰って検討する余地があるのかないのかだけでも示してもらえれば今後の検討材料になると思うがどうか。</p>
事務局	<p>幼稚園で長く保育が受けられたり給食を食べて帰ってきたりできたら、幼稚園の機能そのまま長くできるというご意見をいただいていると思う。こども指針では、これまでは4、5歳児に幼児教育をしていたものを3、4、5歳児というように今回初めて3歳児を組み入れたものとなった。子どもたちは日々成長していけるので、教育委員会としては認定こども園でしか3歳児保育をしないとはうたっていない。ただ課題もたくさんあり、市の目指す方向性はそう考えているが、例えば職員の配置や確保、財政的なもの含めいろいろな課題があり、その進め方について検討しているとお答えすべきかと思う。新しく開設される認定こども園では3歳児の保育は順次取り組んでいけると予測しており、一方で幼稚園そのものを延長して給食をするということは、市の目指す方向性としての認定こども園の推進に反することとなることや、様々な課題があり難しいとは思っている。3歳児教育は指針でもうたっており、どのような施策を具体的に展開していく中で広めていくかは順次考えていかないといけないと思っている。</p>
委員	<p>次回の委員会の開催は3月になるのか。</p>
会長	<p>3月になると思う。</p>
委員	<p>その時に方向性を出すということか。</p>
会長	<p>できれば、そうしていきたいが、今の話ではまだ地域の方の納得を得られていない</p>

委員	<p>感じがしており、検討もいるかと思うが、3月に向けて前向きには考えていきたいと思う。</p>
会長	<p>学校規模適正化、幼保一元化を一緒にするとなっているが、幼保一元化は資料の内容も弱く、議論する余地はないと思う。この委員会は幼保一元化と一緒にということだが、このままだと永遠にこの委員会で議論しなければいけない。学校規模適正化と幼保一元化は別問題で話を進めたほうがいいのではないか。</p>
委員	<p>同じ意見だ。最初は学校規模適正化・幼保一元化を分けても同じメンバーで寄りないといけないということで一本化した経過がある。</p>
委員	<p>幼保一元化の議論をするには、0歳児の保護者等が話に絡んでこないといけないのに、その保護者たちには情報がっていないし、また何が行われているかをまだ実際知らない。委員でも子どもが小学生にあがって小さな頃の子育ては終わっており、その委員で子ども達の未来を決めるのは個人的には納得がいかない。良い悪いではなく議論の場所が間違っているように感じる。議論の場所をわけてもらったほうが、話が進みやすいと思う。</p>
委員	<p>保護者の意見は切実な思いになる。地域の委員会は全体を見ての意見になる。小さい子どもを持つ保護者の代弁は難しいと思う。一番身近な人たちが本音で話し合えないといけない。その方が少しでも早く進めることができるのではないかと思う。</p>
委員 事務局	<p>三土中学校はどのくらい話が進んでいるのか教えてほしい。 12月に中学校PTAの保護者の方に集まってもらい平成26年3月の閉校について提案をさせていただいた。その後、1月に小学生の保護者の方にも一緒に集まっていたき意見交換をした。さらに現在の6年生については入学説明会を終えて制服の注文などの時期になっていることから、先般、土万・三河の小学6年生の保護者の皆さんと協議もさせていただいた。この間、市の考えを伝え、具体の回答を求められ、市としても回答をまとめて、まず6年生の保護者との懇談会でお伝えした。2月26日に再度、小・中学校のPTAに集まっていたき第2回の意見交換会を開催する予定になっている。これまでの意見として、反対の方もおられるが、ほとんどの方がやむをえないと思われていると感じている。時期が急すぎるという意見と、教育委員会が閉校を提案するなら、事前に部活動などの条件的なことを先に考えて示したうえで協議に入るべきというような意見もあり、現在も協議中である。</p>
委員	<p>土万小学校と三土中学校とは並行でという思いがある。それで中学校の方向が全然分からない状況で土万小学校をどうするのかと言われても困る。いつまでに中学校は答えが出るのか。2月いっぱいには答えがでるのか。中学校の方を早く進めてもらわないと難しいと思う。</p>
事務局	<p>三土中学校は中学校自体の規模・状況を前提に考えていこうと提案したが、どうしても小学校の学校規模適正化と密接に絡んでくるもので、三土中学校が先に決まれば土万小学校は判断しやすい。その時期で土万小学校は判断をせざるをえないと思うが、その逆もあると思う。土万・菅野小学校の適正化の時期が決まれば三土中学校も判断をせざるをえないと思う。市は佐用町に対しても一貫して土万・菅野の適正化が進んで一緒に小学校に通って、中学校になってわかるようなことは避けたいと話しており、三河の方にも話している。どちらが先に決まるかはお互いに気にされている状況で、できれば2月26日に目標時期だけでも決めていただきたいという思いがあるが、そこにたどりつけるか、どうなるかわからない状況である。</p>
委員	<p>中学校に入学する子がないかもという状態である。そのあたりもしっかり伝えて</p>

事務局	<p>ほしい。</p> <p>6年生の保護者と、この4月からのことを土万・三河小両方で意見交換をしたが、もう三土中学校に行かないと決めている人もいる。行政が平成 26 年 4 月という投げかけをしており、小学校の適正化が仮に 26 年 4 月で進んだとしたら、その子達が卒業するのに1年かかるので、もう1年の余裕があるということも話している。閉校時期が 26・27 年あるいは 28 年になるかもわからない、そういう学校に通わせるか、通わせないかの選択の幅を持たせてほしいという意見があった。佐用町は部活動による区域外就学を認めている。三土中にない部活動をするために他の学校に通学するというもので、三河の生徒達には制度として認めているが、宍粟市ではその制度は持っておらず、男子は2つの部活から選択している状況であり、保護者から選択の幅を広げてほしいと意見をいただいている。宍粟市として選択を広げるとい結論にはいたっていないが近日中に決断しないといけない状況と思っている。</p>
委員	<p>小学校の適正化に時間がかかったとしても三土中学校だけでも早く進めたいと回答しているが、三土中がこのような状態なので、仮に小学校が 26 年 4 月で決定したとしたら、中学校との期間が開いたとき、方向性の違いが出てきたときはどうするのか。</p>
事務局 委員	<p>そうならない手法、仕組みを作っていく必要があると思う。</p> <p>仮に3月に小学校の方向性を決めるとした場合、中学校がまだ何も決まっていない状態の時、小学校がするからと仮にバタバタ中学校を進めたとして、在校生に影響が出ないのか。影響が出るようなことがあったらまずいので、本当に小学校が3月に決めていいのかわか不安だ。中学校1、2年の子どもが犠牲になったら困る。委員が3月に適正化を決めただろうと言われるのは困る。</p>
事務局	<p>我々も自覚はしている。時期が急だったことで非難も受けているが、仮に三土中学校を閉じるとして、閉じ方について選択制の結論はまだ持っていないが、仮に選択制を導入する場合も、新入生だけに選択制を認める方法、2、3年生の在校生に認めていく方法もあるが、そうすると中学校が極端に小さくなることが想定され、本当にその閉じ方でいいのか、教育委員会としては1、2、3年生の全学年がいる中で一緒に閉じさせていただき、新しい中学校にそれぞれ先輩・後輩・同級生がいる状態で行っていただくことをお願いしているが、やはり保護者にとって自分の子どもさんのことは切実な願いであることも理解しており、在校生も含めてこんな形になって本当にいいのかということも、もう少し協議していく必要がある。</p>
委員 事務局	<p>小学校は3月までに結論を出せということか。本当に出さないといけないのか。</p> <p>行政は地域の理解なく無理やりはしない。それは年度も含めて申し上げてきた。地域の皆さんで3月までにできなくて、4月5月にずれ込むとなると 26 年は考えざるをえないと思っている。行政から時期の提案はしているが、最終的には皆さんの合意形成の中で決めたい。中学校も同様だが、時期の目標だけは合意していただかないと保護者の方は心配になる。当委員会も3月の時点ではどのような結論を導き出すかということ相談いただきたいと思います。</p>
委員 事務局	<p>それまでに中学校の意見をきっちり出してもらわないと。</p> <p>中学校も同じ課題があり、一旦、2月なり3月なりの時点で保護者として結論をだしてもらいたいと思っている。</p>
委員	<p>当委員会が3月にあるのなら、それまでにある程度の意見を言ってもらうことで適正化するとかしないとかの結論が出ると思う。誰も中学校が不安であり、その点を出してもらわないと、そのことがネックになっている。</p>

事務局	中学校を決めてもらわないと小学校の時期が決めにくく、一貫性がないという意見であると思うので承っておく。
委員	土万地区の方向性として、幼稚園・小学校の年度の方向性は先ほど報告した。中学校もそれに合うように、教育委員会で努力してほしい。
委員	中学校の方向性によって、小学校が 26 年 4 月と思っている保護者の意見も変わってくると思う。
委員	小中学校のどちらを主にするのか、どちらかを主にしないといけないとは思ふ。どちらがいいかということもあると思うが、いずれにしても、どちらかでやっていけないといけないので、どちらか早く決まった方向に合わせていけるように教育委員会として努力してほしいと思う。
会長	時間も経過しており、次回は 3 月末頃にどうか。
委員	幼保一元化をこのままずっと、この会で引っ張っていくのか、次もこの形でやるということかを確認していただき、会の進め方についてはおまかせする。
委員	学校規模適正化、幼保一元化については、進み具合と教育委員会の方向性も大きく違っており、また他の校区ではどのような協議方法がされているかも不明だが、この話の進捗状況からいくと切り離れた委員会で検討したほうがいいのではないかと思うので、その方向で再度こちらと教育委員会とで調整しながら次回、方向性を決めたい。中学校が先なのか小学校が先なのかについても教育委員会と協議させていただき、次回にその部分の方向性をきっちり示すようにしていきたいと思う。次回の日程は事務局と調整しながら決めていくことでいいか。
事務局	調整させていただきたい。
委員	変則的な合併の仕方で中学校が絡んでくるので大変だとは思ふ。子どもにとって 26 年、27 年、28 年であっても受ける影響は変わらない。誰かが影響を受けないと進まない。仮に 26 年度を目途に進めるとした場合、それによって影響を受ける子ども達について、どうすることによって最小限の影響ですむのか、最良の方向になるだろうか、そういう発想でしていかなければ 27 年になったらまた同じようなことになってしまう。そのようなことも含めた協議にしてもらいたいと思う。 (閉会)
委員	子どもの教育が主であり、どのような環境が適切なのかを考えて今まで協議してきたものであり、こういう環境が良いということについては理解をいただいているものと思う。少しでも早くその良い環境に近づくように、それを目標に進めていきたいと思うので、次回にははっきりした期限と進め方、幼保一元化を切り離すかも示しながら進めたいと思う。年度末を迎えているので役員改選等があると思うが、十分に引継等してもらい、少しでも良い方向に早く進むように協力いただきたいと思う。お疲れさまでした。